

2026年3月期 第2四半期（中間期）

決算説明資料

2025年11月12日

証券コード／4977



決算ハイライト

2026年3月期 第2四半期（中間期）連結累計期間

- 1 日本や北米での販売減少により、売上高は減少
- 2 収益性は好調を維持。営業利益、経常利益は前年同期及び期初予想を上回る
- 3 北米持株会社ニッタゼラチンホールディングス Inc.清算手続きに伴い、法人税等調整額を計上したことから、親会社株主に帰属する中間純利益が大きく増加

連結損益計算書【前期比】

(百万円未満切捨て)

- 日本や北米での販売減少により減収も、収益性改善が進捗し増益に
- ニッタゼラチンホールディングス Inc.の清算手続きに伴い法人税等調整額を計上し、最終利益が大幅増加

単位：百万円	2025/3 中間期	2026/3 中間期	前期対比	
	実績	実績	増減	対比
売上高	19,735	18,499	▲ 1,236	▲ 6.3%
売上総利益	5,178	5,301	+ 122	+ 2.4%
営業利益	2,127	2,324	+ 196	+ 9.2%
営業利益率	10.8%	12.6%	+ 1.8pt	—
経常利益	1,969	2,388	+ 418	+ 21.2%
親会社株主に帰属する 中間純利益	820	2,214	+ 1,394	+ 170.0%

2026/3 通期	
期初予想	進捗率
40,000	46.2%
10,600	50.0%
4,000	58.1%
10.0%	—
4,100	58.2%
2,100	105.5%

連結損益計算書【期初予想比】

- 日本などで売上が予想を下回ったものの、収益性改善により利益面は好調に推移
- 法人税等調整額の計上により最終利益も予想を大きく上回る

(百万円未満切捨て)

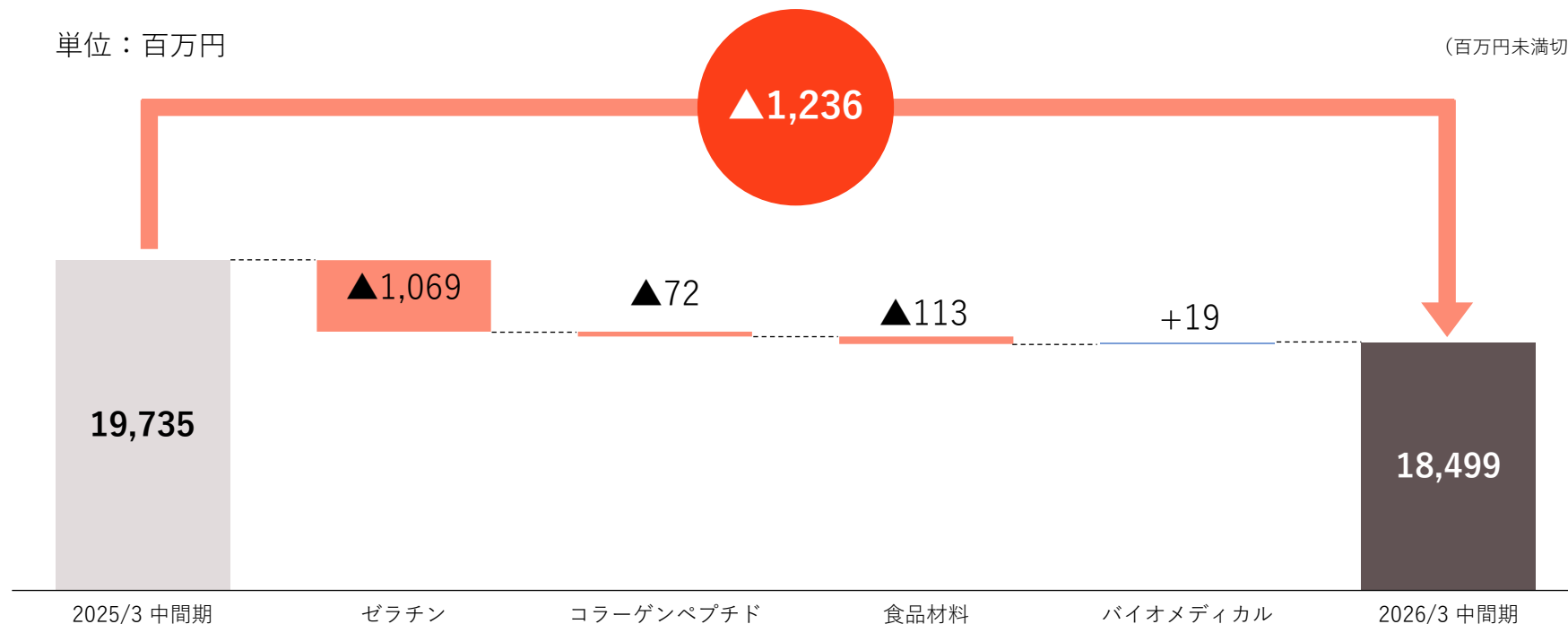
単位：百万円	2026/3 中間期	2026/3 中間期	期初予想比	
	期初予想	実績	増減	対比
売上高	19,000	18,499	▲ 500	▲ 2.6%
売上総利益		5,301		
営業利益	1,900	2,324	+ 424	+ 22.3%
営業利益率	10.0%	12.6%	+ 2.6pt	—
経常利益	2,000	2,388	+ 388	+ 19.4%
親会社株主に帰属する 中間純利益	1,000	2,214	+ 1,214	+ 121.5%

連結売上高増減要因

北米での在庫販売分の減少や、日本での写真用販売の減少などにより、ゼラチン販売が減少

単位：百万円

(百万円未満切捨て)



製品区分別販売概況

単位：百万円

2025/3 中間期

売上高

2026/3 中間期

(百万円未満切捨て)

ゼラチン

14,549

▲7.3%

13,480

- 日本では食品用とカプセル用が引き続き堅調も、写真用は減少
- 北米では前期1QのNGU*生産停止後の在庫販売分が減少
- インドではソフトカプセル用、ハードカプセル用が好調に推移

*ニッタゼラチンユーエスエーInc.

コラーゲン
ペプチド

3,382

▲2.1%

3,309

- 日本では当社製品を使用した顧客商品の販売が減少
- 北米ではプロテインバー向けの需要が引き続き旺盛で、販売は好調
- インド、アジア市場は引き続き堅調

食品材料

1,639

▲6.9%

1,525

- 収益性向上を目的とした商品構成見直しの進展に伴い減収

バイオ
メディカル

164

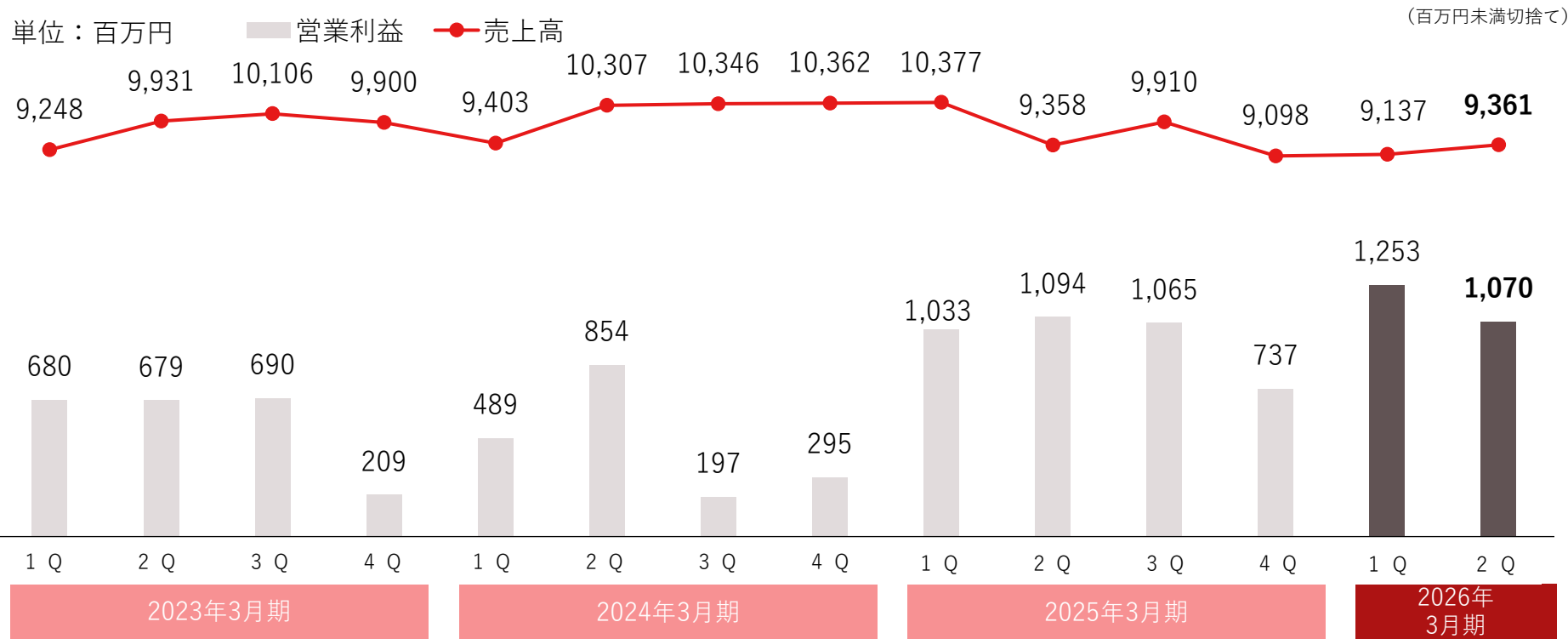
+11.6%

183

- 日本では、主要顧客での生産量低下により販売が減少
- 海外向けの販売が伸長

四半期別連結業績推移

第1四半期との比較では減益となるも、依然として高い利益水準を維持。



連結貸借対照表

- ニッタゼラチンインディアLtd.での増産工事進展、繰延税金資産の増加及びERP導入などにより、固定資産が増加
- 有利子負債の削減は順調に進捗中

単位：百万円

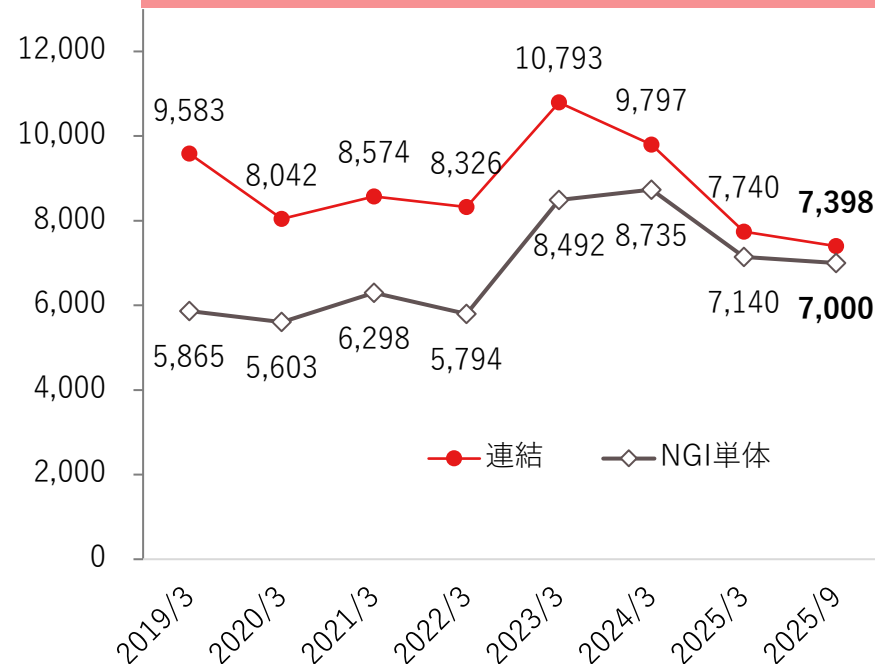
2025/3期末対比

流動資産		負債	
+ 606		▲102	
現金・預金	+851	支払手形・買掛金	▲151
受取手形・売掛金	▲252	短期借入金	▲554
棚卸資産	▲65	長期借入金	+257
固定資産		純資産	
+ 1,294		+ 2,003	
有形固定資産	+200	株主資本計	+1,942
無形固定資産	▲56	その他包括利益累計額	▲27
投資その他資産	+1,150	非支配株主持分	+88

総資産合計 42,313 (+1,900)

(百万円未満切捨て)

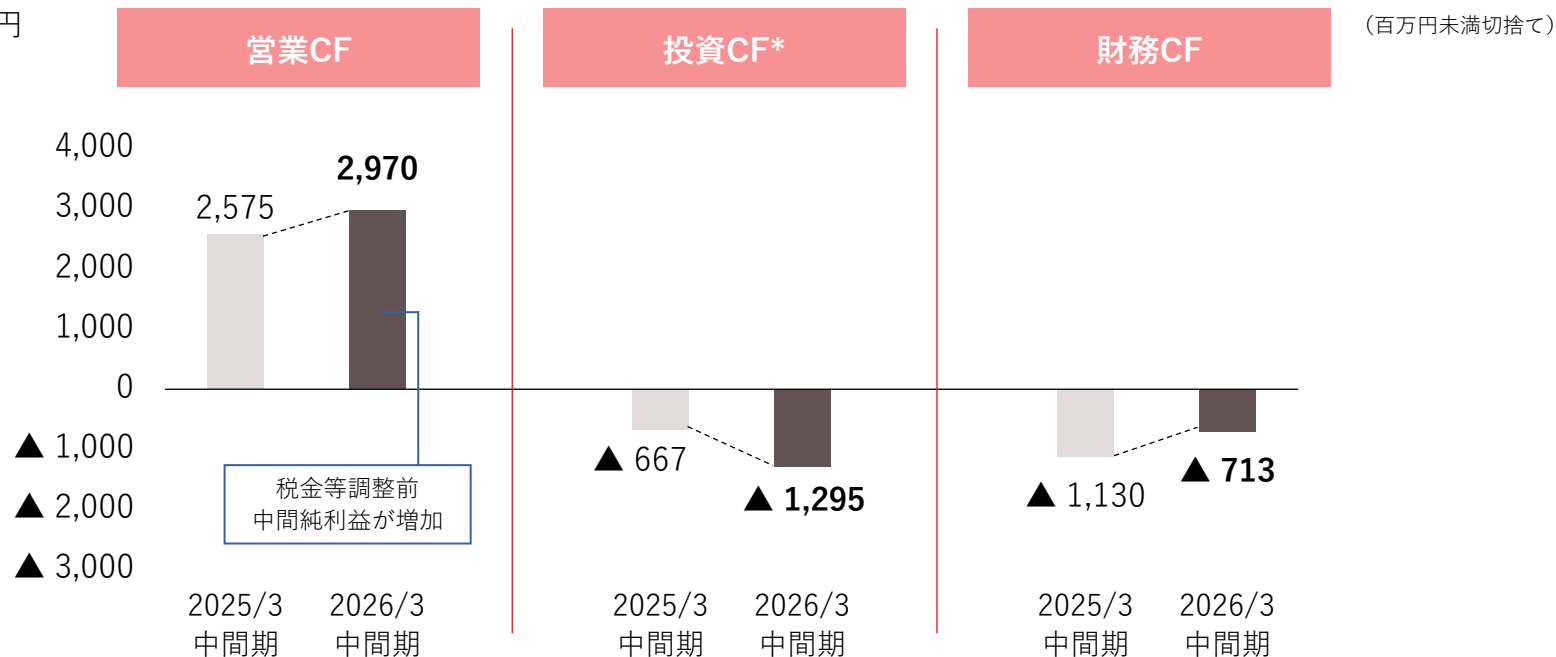
有利子負債推移（連結・NGI単体）



連結キャッシュ・フロー計算書

業績好調により営業CFが増加。ERPやインドへの増産投資による支出、借入金の返済を実施

単位：百万円



*定期預金の預入・払戻を除く

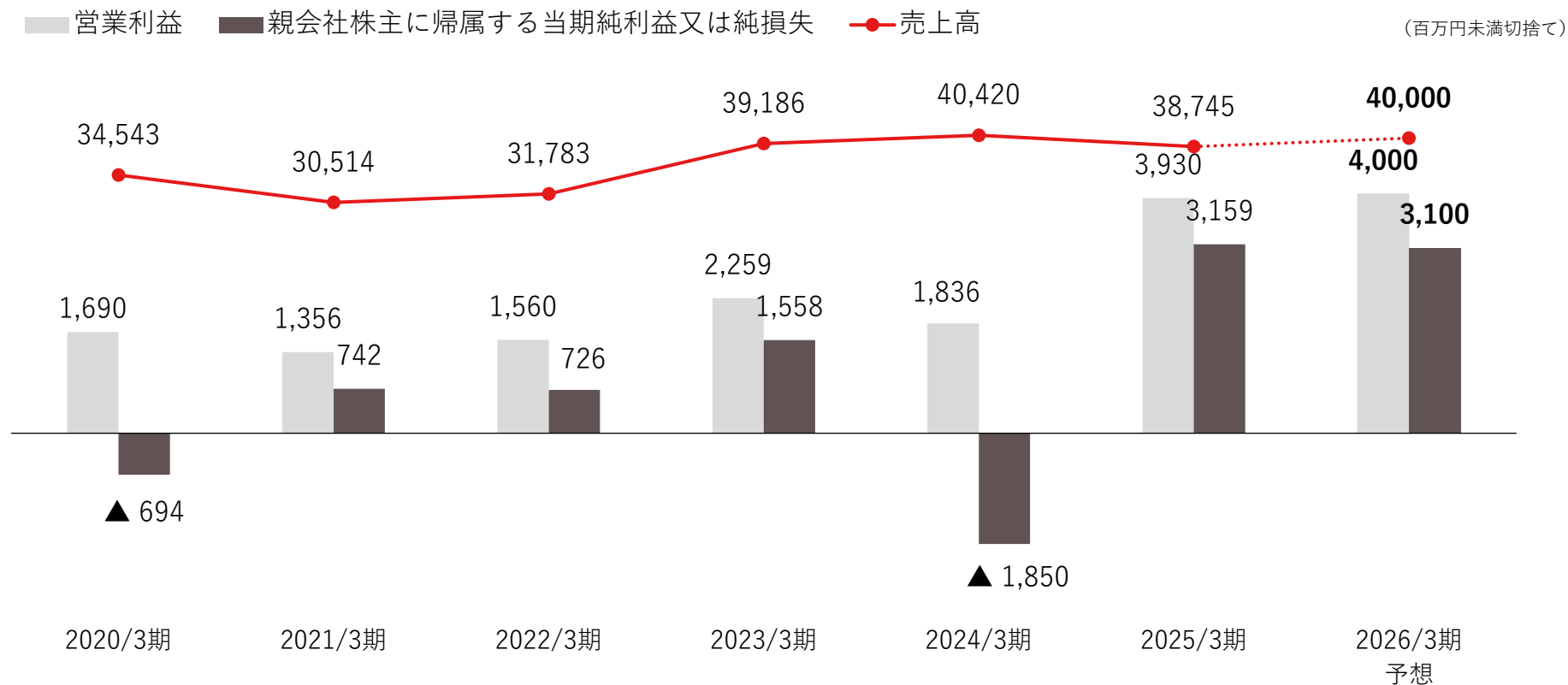
ご案内

本資料に記載された見解、見通し、ならびに予測等は、
資料作成時点での弊社の判断であります。
その情報の正確性を保証するものではありません。
市場環境等の様々な要因により、
今後の業績は本資料の内容と異なるものとなる可能性があります。
ご承知おきのほど、お願い申し上げます。

新田ゼラチン株式会社
経営企画部

【お問い合わせ】 <https://cloud.swcms.net/nitta-gelatinPublic/ja/ir/inquiry6.html>

[参考資料] 連結業績推移



[参考資料] 為替換算レート

2026年3月期中間期実績

単位：円	2025/3	2026/3	2026/3	前期 差異	予想 差異
	中間期実績	中間期予想	中間期実績		
米ドル	152.30	150.00	146.54	▲ 5.76	▲ 3.46
カナダドル	111.65	109.00	105.56	▲ 6.09	▲ 3.44
インドルピー	1.82	1.75	1.70	▲ 0.12	▲ 0.05